

科目名	保育内容総論（卒業必修：保育士必修：幼稚園教諭二種必修）		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2022年度 後期	単位数	2
担当教員	郭 小蘭		
内容および計画	<p>【授業の目的】 本科目は（幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園における）幼児教育・保育の基本とその具体的な展開方法を演習で総合的に学ぶことになっている。この科目を学修することにより、学修者が幼児期の教育・保育を実践していく専門家としてのより実践的な指導力を身につけることができる。「より実践的な指導力」の具体例として乳幼児の発達及び心理を理解する能力、アクティブ・ラーニングの視点から指導計画を構想する力、映像やICT及び教材の活用法を理解し、保育を構想する力を挙げるができる。</p> <p>【到達目標】 （１）乳幼児期の教育・保育における考え方の理解 ①幼児教育・保育の基本を述べるができる。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を述べるができる。幼児教育で育みたい資質・能力（「3本柱」という。知識及び技能の基礎、考える力や表現力の基礎という知的な能力と情意的・協同的な力という非認知的能力）を列挙することができる。また、3本柱を具体的な保育内容の中に組み込んだものとしての10の姿（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」という）を列記することができる。 ②保育内容の歴史の変遷とその社会的背景との関連性について例を挙げるができる。保育内容は園生活すべてであり、子どもの発達や生活内容に即したものであるとのことを感ずることができる。 （２）指導（展開）における考え方の理解 ③養護及び教育が一体的に展開する保育の意義を述べるができる。環境を通して行う保育を感ずることができる。遊びを通しての総合的な指導の意義（子どもの主体性を尊重した保育の展開の意義）と教師・保育者の役割を感ずることができる。幼児理解に基づく評価であること、「10の姿」は幼児教育の出口であり、小学校教育の入口になるものでもあるとのことを感ずることができる。 （３）発達を見通した指導計画作成の理解 ④全体的な計画・指導計画、指導計画の評価の考え方を述べるができる。行事の意味を理解し、園行事のあり方（個と集団の発達を踏まえた保育も含む）を説明できる。「10の姿」（特に5歳児後半の幼児の姿）を理解し、家庭や地域、小学校との連携を踏まえた保育であることを感ずることができる。 （４）保育内容の指導方法と保育の構想の演習 ⑤映像を見て記録を書くことができる。 ⑥幼児の認識・思考、動きなどを視野に入れた保育実践例を観察し記録を書ける。 ⑦幼児の体験との関連を考慮した映像やICT及び教材の活用法を理解し、指導計画案作成に活かすことができる。 ⑧具体的な指導計画案を書ける。 ⑨模擬保育とその振り返りを通して改善する視点に気づくことができる。 ⑩保育実践の動向（幼児教育でのICT活用を含む）を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。 ⑪保育の多様な展開について例を挙げることができる。</p> <p>【授業概要】 園生活全体を視野にいれて総合的に指導するという幼児教育における指導の考え方や指導計画の考え方を学ぶ。詳細は15回の計画を参照する。</p> <p>【授業方法】 到達目標に応じてDVDなどの視聴内容の要点解説は対話型授業で行う。記録・指導計画案作成・模擬保育とその振り返りは少人数のグループワークやICTを活用する。</p>		
1	<p>「保育内容総論」に関するオリエンテーション （１）乳幼児期の教育・保育における考え方の理解 ・乳幼児期の教育・保育の目的（資料解説） ・乳幼児期の教育・保育の目標（資料解説） ・乳幼児期の教育・保育の指導法の特徴（資料解説） ・保育の内容構成（ねらいと内容）（DVD視聴：1歳児編 「食事の様子」及び「2歳児保育 やさしさが育つとき 「だめ！いいよ」） ・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の各章のつながりと保育の全体的な構造（資料解説）</p>		
2	<p>（１）乳幼児期の教育・保育における考え方の理解 ・DVD「うこっけいの死」を視聴して、①保育内容とは園生活全体である、②幼児の園生活での学びと</p>		

	<p>指導上の留意点は何か、この2点を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD（主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ 4歳児編 「うこっけいの死」）を視聴した後に少人数グループで話し合う。 ・「10の姿」と「環境構成」「保育の評価」についてリアクションペーパーを書く。
3	<p>(1) 乳幼児期の教育・保育における考え方の理解 保育の内容の歴史の変遷とその社会的背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度までの保育について（資料解説） ・令和時代の保育について（視覚教材による教員の解説と少人数グループで話し合う。）
4	<p>(2) 指導（展開）における考え方の理解（DVD視聴・要点解説・グループワーク）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD視聴（主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ 5歳児編 「ブランコをめぐるいさかい」）。 ・遊びを通しての総合的な指導の意義（子どもの主体性尊重の意義）と教師・保育者の役割について。 ・幼児理解に基づく評価である。 ・「10の姿」は幼児教育の出口であり、小学校教育の入口になるものでもある。 ・授業時間外でミニレポート課題「幼児期の教育・保育の指導法の特徴について」。
5	<p>(3) 発達を見通した指導計画作成の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な計画・指導計画（配布資料による講義） ・指導計画の評価の考え方の理解（模擬保育体験による。テーマ： 「タオル DE 消防隊」）
6	<p>(3) 発達を見通した指導計画作成の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カメラをもって町の宝物を写真に撮ろう（保育とICT 5歳の子どもカメラマンになりきって町を探検してみよう）。 ・行事の意味を理解し、園行事のあり方（個と集団の発達を踏まえた保育も含む）を考える（保育園の写真、5歳児後半の幼児の姿「店屋さんごっこ祭り」の紹介と解説。） ・「10の姿」を理解し、家庭や地域、小学校との連携を踏まえた保育である（保育園の写真、5歳児後半の幼児の姿「店屋さんごっこ祭り」について話し合う。）
7	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（観察・記録）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て記録を書く（DVD視聴：主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ 1歳児編「室内での遊び」）。 ・幼児の認識・思考、動きなどを視野に入れた保育実践例を観察し記録を書く。（DVD視聴：主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ 3歳児編 「よーいどん かけっこ」）
8	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（指導計画案作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体験との関連を考慮した映像やICT及び教材の活用法を理解し、指導計画案作成に活かす。（資料解説 テーマ：子どもの主体的な活動としてのICT教育）
9	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（指導計画案作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の体験との関連を考慮した映像やICT及び教材の活用法を理解し、指導計画案作成に活かす。（指導計画案作成。テーマ：子どもの主体的な活動としてのICT教育）
10	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（指導計画案作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特別な配慮を要する子どもの保育」の指導計画案作成（DVD視聴 「保育のひだまり 子どもに寄り添い育まれる保育」 ・第1巻 「ダッコおしまい あそぼう」 ・第2巻 「さわっちゃだめだからね」 ・リアクションペーパーを書く。
11	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（模擬保育・評価及び改善点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬保育とその振り返りを通して改善する視点に気づく。 ①DVD視聴（主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ 4歳児編 「お月見だんこ作り」）。 ②6グループに分けて、模擬保育を行う（テーマ：「紙粘土でお月見だんこ作り」。方法：スマホで模擬保育の様子を撮る。教師役・子ども役・観察者役で演じる）。
12	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（模擬保育・評価及び改善点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の多様な展開について（多様性・柔軟性） ・長時間の保育における配慮事項について（模擬保育：保育者役・子ども役・観察者役で演じる） ・多文化共生の保育に配慮事項について（模擬保育： 保育者役・子ども役・観察者役で演じる）
13	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（保育実践の最新の動向）</p>

	<p>①指定テーマでポスター制作用のデザイン（ICT など）を起案する（今までの学びを復習し、成果を発表するため）。</p> <p>まず個人でポスターデザインを課題レポートとして起案する。</p> <p>そして、グループで個人の課題レポートを共有した上でグループ発表用のポスターデザイン（ICT）を起案する。</p>
14	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（保育実践の最新の動向）</p> <p>② グループに分かれてグループ用のポスター（ICT など）を制作する。</p>
15	<p>(4) 保育内容の指導方法と保育の構想の演習（保育実践の最新の動向）</p> <p>③ 各グループでポスター発表（ICT など含む）をする。</p> <p>④ ポスターを学科の壁に掲示する。</p>

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
『保育内容総論』	渡邊英則・大豆生田啓友編著	ミネルヴァ書房	9784623085347	2020
『イラストたっぷり やさしく読み解く 幼稚園教育要領ハンドブック 2017年 告示版』	無藤 隆監修	Gakken	9784058008102	2017
『イラストたっぷり やさしく読み解く 保育所保育指針 ハンドブック 2017年 告示版』	汐見稔幸監修	Gakken	9784058008096	2017

- (1) 図書館にある DVD を授業の教材として使用します。授業時間外に詳しく視聴することが望ましいです。
- (2) 事前に classroom にレジュメなどの資料を掲載するので予習してください。予習した前提で授業を進めます。
- (3) 教材研究に ICT などを活用してください。
- (4) 教員に参考文献などについて積極的に助言を求めてください。

参考書	<p>①『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』。</p> <p>②授業のレジュメに記載してある書籍。</p> <p>③図書館にある DVD・保育雑誌。</p>
-----	--

成績評価

評価方法	割合(%)
「内容欄」に記載されている 11 個の達成目標（理解度・文章力という観点から A,B,C3 段階で評定する。）	60
課題レポート（理解度・文章力・自分の考えの有無という観点から A,B,C3 段階で評定する。）	20
リアクションペーパー（理解度・文章力・自分の考えの有無という観点から A,B,C3 段階で評定する。）	10
授業中の取り組み（集中力・発言・傾聴・積極性という観点から A,B,C,D 4 段階で評定する。）	10

- ①この科目は「保育内容と保育内容の指導法」を実践的に学ぶ教科目である。自ら積極的に調べ・考え・話すこと、学修者同士の積極的な交流が大切である。
- ②総合的な保育実践力を身につけるためには予習・復習・ノートの整理・言語的及び非言語的表現力が必要である。

学習到達目標	内容欄に記載してある。
先修条件	
実務経験	<p>(1) 児童養護施設で心理士を務めていたことがある。</p> <p>(2) 会津地域でスクールカウンセラーを長年務めていたことがある。</p>
その他	<p>共に充実した内容の楽しい授業をつくっていきましょう。</p> <p>学修者の成長を身近で見守るのが楽しみです。</p>